



国際ミニシンポジウム
日本とドイツのエネルギー転換
政策・認識・実践
2020年2月17日（月）東京（お台場）

概要

エネルギー価値学と日本の地熱エネルギー

土屋範芳
東北大学大学院環境科学研究科

持続可能な社会で心豊かな社会を実現するためには、「エネルギーの新しい価値観」の創造・展開を視野に入れた新しい観点の研究とその成果の社会実装が不可欠である。東北大学はこうした「エネルギーの新しい価値観」を生み出すための学問である「エネルギー価値学」創生に向けて、学際研究拠点を設けました。この拠点では、理想とする持続可能社会からバックキャストし、その社会実現のために必要となる目標値（Factor of X）を設定し、エネルギー研究を戦略的に推進することで、自然科学、人文・社会科学の知見を融合した新たなパラダイム創出の学際的研究を目指しています。

この講演では、東北大学が進めているエネルギー価値学の紹介とともに、私自身の専門である地熱エネルギーの持続的な利用と、社会、特に‘温泉’との共生について講演します。